卒業研究交流セッションの開催および卒業研究交流セッション最優秀賞選出に関する申し合わせ

2019 年 8 月 25 日　作成
2025 年 1 月 31 日　改定

一般社団法人日本看護技術学会
研究活動推進委員会

１．卒業研究交流セッションのねらい

卒業研究交流セッションは、一般社団法人日本看護技術学会学術集会の開催の前年 3 月または同年 3 月に卒業した新人看護職者の卒業研究成果を発表し、研究者間で交流する機会を持つことで、若手研究者の育成、研究活動の推進を行うことをねらいとする。

２．発表資格条件

発表者は、学術集会開催の前年 3 月または同年 3 月に専門学校、短期大学、大学を卒業した者とし、卒業研究として取り組んだ研究を発表することができる。発表者は学会員である必要はない。卒業研究は、所属の学校にて倫理審査の承認が得られていることが望ましい。倫理審査の承認が得られていない場合には、対象者への不利益や有害事象などに対する倫理的配慮について十分に検討した旨を抄録に記載してもらうこととする。

３．申し込み要領

発表者が学会員でない場合は、学会員である指導教員との連名で申し込むこと。尚、発表者は筆頭に、指導教員は発表者の最後に氏名を載せる。発表の申し込み人数の制限を設けないが、当該卒業研究を行った卒業生のみとする。発表者は非会員としての学術集会参加費を支払う。

発表者が学会員である場合は単独で発表を申し込むことができる。その場合、研究活動推進委員会は、発表者が前年 3 月または同年 3 月に卒業した者であり、発表内容が卒業研究であることを確認する。なお、学会員である場合は、卒業研究であっても一般演題にて発表することができる。

４．発表者の発表要領

発表は口演発表（学術集会長と相談して示説を含む場合もある）を原則とし、１演題 10 分(発表 7 分、質疑応答 3 分)とする。筆頭の発表者が発表を行う。やむを得ない理由により発表者が交代する場合は、事前に座長に申し入れること。その場合は、最優秀賞の選考の対象外になる。

５．最優秀賞の選出および選考方法

卒業研究交流セッションにて発表した演題を採点し、最も点数が高かった演題を卒業研究交流セッション最優秀賞として選出する。

卒業研究交流セッションの演題は、複数名の研究活動推進委員により採点を行う。基準は、以下の4項目である。

a　内容の新規性

b　研究の完成度

c　発表の分かりやすさ（時間・話し方）

d　質疑応答時の明確さ

※ a~d の項目はそれぞれ 5 点満点であり、a,b は抄録の内容をもとに採点を行い、c,d は学術集会当日の発表内容をもとに採点を行う。

６．学術集会による告知と結果の公表について

卒業研究交流セッション最優秀賞の選出方法、基準について、本会ホームページ（以下、ＨＰ）にて公表する。また、当該学術集会のＨＰの卒業研究交流セッションの募集欄と抄録集内にて告知を行う。結果の公表は、最優秀賞者へのメール連絡およびＨＰ、ニュースレターでの公表を行う。また、最優秀賞者には、学会入会の案内と、論文投稿を奨励する。

７．表彰について

卒業研究交流セッション最優秀賞者には、翌年の学術集会時に表彰式を行い、賞状と記念品を授与する。